

2. カリエスリスクテストを中心とした指導法

おく小児矯正歯科（鹿児島市）

喜久 めぐみ



略歴

平成 1年 鹿児島歯科学院専門学校卒業

平成 1年 大山歯科勤務

平成 11年 おく小児矯正歯科勤務

所属学会：日本小児歯科学会

鹿児島保健小児学会

私たち歯科衛生士は、子どもたちの齲蝕予防や齲蝕の進行抑制のために、直接、間接的に歯科保健指導を行っています。その歯科保健指導により、子どもやその保護者が望ましい保健行動を起こすことを期待しますが、なかなか私たちが思うような行動が得られないのではないか？

多くの患者さんは、保健指導内容やその必要性を理解されていますが、それを自ら行動に移すことは難しいようです。患者さんが実際に日常生活の中で行動していくためには、各個人にとって強い動機付けが必要と考えます。

そこで、当院では齲蝕活動性試験を用いて各個人の齲蝕リスクを把握し、レーダーチャートに表したり、ひとりひとりの口腔のステファンカーブを作成して、問題点を改善するための具体的な保健指導を行っています。レーダーチャートで個々の口腔の問題点を提示することに加え、視覚的なツールを用いることで、保護者は、言葉だけの説明より、客観的に齲蝕リスクをイメージしやすくなります。そこで、ひとりひとりの問題点をどのように改善していくか、具体的に指導を行います。

本シンポジウムでは、齲蝕活動性試験を用いた具体的な保健指導について、ご紹介させていただきたいと思います。